

秋葉原UDXビジョンのご案内

NTTアド



屋外大型ビジョンで国内最高峰の高画質を実現

～秋葉原UDXビジョンは2016年6月から本格運用スタート～

サブカルチャーとテクノロジーが融合し、世界に向けた“クールジャパン”発信拠点として多くの外国人観光客も訪れる秋葉原の駅に隣接するUDXビルにNTTアドが大型ビジョンを設置、高画質な最新型のビジョンとしてスタートします。

特長 1 臨場感の高い映像を実現するデジタルフルハイビジョンを採用

画面のLED発光画素を6mm間隔で実装、明るさ5,000カンデラと街頭屋外ビジョンの解像度は国内最高峰。商品やサービス、自然風景などがもっている本来の質感や臨場感をしっかりと伝えることができ、また、直射日光による影響も最小限です。

都内街頭屋外ビジョン最大級サイズ



- ◆画面サイズ
 - ・横11.90m×縦6.91m (16:9)
 - ・画素ピッチ6mm
 - ・フルハイビジョン

首都圏主なビジョンのサイズ

池袋 パルコ ビジョン	ソニー ビジョン 渋谷	かわぐち キャスト ビジョン	シブハチ ヒット ビジョン	新宿 アルタ ビジョン
横10.88m × 縦6.08m	横8.70m × 縦10.60m	横6.40m × 縦3.52m	横24.30m × 縦17.30m	横12.81m × 縦7.20m

特長 2 4K/2K映像にもデュアルで対応する再生装置を導入

再生装置は、4K/2K映像にも対応し、屋外大型ビジョンとしては、国内最高水準による高画質を実現。

ハイビジョン	4K
実体色の74.4%を表現	実体色の99.9%を表現
8bit 256段階	10bit 1024段階
約4倍 →	



秋葉原は、多様な分野の感度の高い人たちが国内外から集まってくる街です。

首都圏を中心とした各地からのターミナル駅のひとつであり、電気街として、アニメやアイドル、コスプレなどのサブカルチャーの街として発展を遂げる秋葉原。一方で、秋葉原UDXを含むオフィスビルや企業の本社ビルが立ち並ぶビジネス街としての側面も持っています。また、近年ではJR東日本グループさまの全国の物産品、工芸品を販売する商業施設も登場しています。

POINT1 関東の各地から6路線が乗り入れるターミナル駅

「JR秋葉原駅」は、JR東日本の駅でトップ10に入る乗降者数を誇ります。また、東京の東西、神奈川、千葉、埼玉、茨城と多方面を結ぶ4電鉄6路線が乗り入れるターミナル駅であり、関東を中心とした幅広い地域から人々が集まってくる街です。

■ 秋葉原駅に乗り入れる路線および1日当たりの平均乗降者数 | 2014年

電鉄	路線	沿線地域	平均乗降客数/日
JR	山手線	東京都内主要駅	482,126
	京浜東北線	東京・神奈川・埼玉	
	総武線	東京・千葉	
メトロ	日比谷線	東京・埼玉	122,576
つくば	つくばエクスプレス	東京・千葉・茨城	123,450
都営	新宿線	東京・千葉	44,294
延べ乗降客数			772,446

■ 乗降者数ランキング2014年度 | JR東日本

順位	駅名	1日平均
1	新宿	1,496,314
2	池袋	1,099,006
3	東京	836,368
4	横浜	807,810
5	渋谷	743,578
6	品川	684,950
7	新橋	507,748
8	大宮	489,112
9	秋葉原	482,126
10	川崎	408,306

POINT2 世界有数の電気街として サブカルチャーの拠点として、国内外から人々が集まる

秋葉原は、アニメ・コミック・アイドル・ゲーム・コスプレ・メイドカフェなど、日本のサブカルチャーを発信する「Akiba（アキバ）」として、世界的にも注目されており、日本人のみならず、日本文化に関心のある外国人も集まります。また、世界有数の電気街としても有名で、買い物目的の海外旅行者も訪れます。また、秋葉原UDXは「AKBカフェ」や「ガンダムカフェ」に近い立地です。

■ 平成26年度国別外国人旅行者行動特性調査(東京都)

東京を訪れた外国人観光客の41%が訪れる都内第5位の人気観光地です。

(%)

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
新宿・大久保	銀座	浅草	渋谷	秋葉原	東京駅周辺・丸の内・日本橋	上野	原宿・表参道・青山	お台場・東京湾	六本木・赤坂
55.4	50.0	49.2	41.8	41.0	39.7	37.1	31.8	29.3	22.5

POINT3 大手企業の本社やオフィスビルが立ち並ぶビジネス街

秋葉原駅周辺には山崎製パンやYKKをはじめとする大手企業の本社ビルや複数の企業が入るオフィスビルが立ち並んでいます。秋葉原UDXにも、大手企業がオフィスを構えており、また、セミナー・イベントなどのスペースも併設されているため多くのビジネスパーソンが行きかいます。

秋葉原周辺に本社を置く企業

ヤマザキ YKK 凸版印刷 近畿日本ツーリスト 貝印

主なオフィスビル

秋葉原UDX 秋葉原ダイビル 住友不動産秋葉原ビル JEBL秋葉原Square (2016年8月竣工)

※2016年5月現在

POINT4 JR東日本さまによる物産品・工芸品販売施設が並ぶ地方発信拠点

秋葉原UDXは、各種の地産商品や工芸品を販売する商業施設「ちゃばら」、「B-1グランプリ食堂」「2K540」などへの導線上に位置しており、また、秋葉原駅構内にも同様の施設「のもの」があります。これらの施設を訪れる、グルメ、旅行、アートなどに関心が高い人たちも訪れます。

ちゃばら

バイヤー選りすぐりの日本全国の逸品を集め、単なるショップではなく、生産者と消費者が直（じか）に繋がる場として、食の奥深さや伝統・伝承に触れることができる施設

2K540

「ものづくり」をテーマとしたさまざまなアトリエショップ（工房＋ショップ）ここでしか買えない商品、ものづくりの体験が出来るワークショップなど、さまざまな個性あふれるお店が集まります。

B-1グランプリ食堂

B-1グランプリを主催する「愛Bリーグ」に加盟する約70団体が監修する人気のご当地グルメを順次入れ会で楽しめる飲食施設

のものの秋葉原

JR東日本グループの「地域再発見プロジェクト」のコンセプトショップ。東日本の各地域の食を中心に地域の魅力を紹介

※2016年5月現在

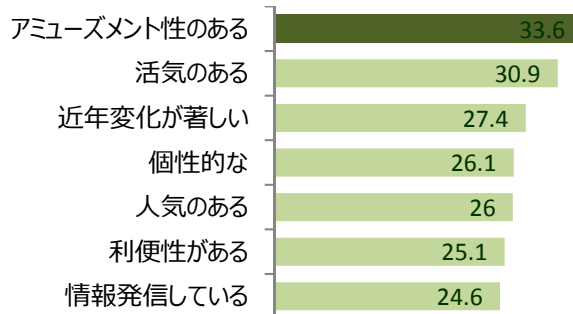
放映時間など



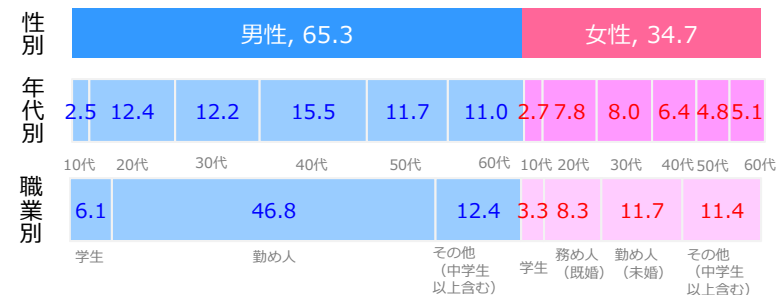
- 放映時間 : 9時~23時 (14時間/日)
- 画面サイズ: 横11.90m×横6.91m 16:9画面
(都条例規制内でほぼ最大画面サイズ)
画素6mmピッチ フルハイビジョン(2K)
- 直射日光でもはっきり見える画面輝度5,000cd/m²

target

駅のイメージ (%)



利用者構成



※出典: (株)JR東日本企画「MEDIADATA」

男性の利用者が65.3%と多いのが特徴です。イメージとしては「アミューズメント性のある」「活気のある」などが高く、秋葉原電気街の玄関口として認知されている

Circulation

1日乗降者 482,126人
駅ランク A
 池袋駅と東京駅と同ランク

電気街口 38.0%
 中央改札口 32.0%
 昭和通り口 23.4%
 アトレ改札口 6.5%

ご要望に応じ秋葉原以外の新宿・渋谷・池袋等の他エリアの屋外ビジョンと組み合わせたプランも承りますのでお気軽にご相談ください。